

令和6年2月19日
伊集院高等学校

令和5年度 第2回学校関係者評価委員会 報告

- 1 日 時 令和6年2月16日（金） 10:00～12:00（授業参観を含め120分）
- 2 場 所 本校会議室
- 3 日 程 学校関係者評価委員会
- (1) 開会のことば（教頭）
 - (2) 校長あいさつ（校長）
 - (3) 出席者紹介（教頭）
 - (4) 学校関係者評価委員会について（教頭）
 - (5) 今年度の目標・取組・課題と学教評価アンケート総括
 - ア 各部から（四部主任）
 - イ 各学年から（学年主任）
 - ウ 学校生活に関するアンケート集計結果について（校長）
 - (6) 質疑応答及び委員からの提言等
 - (7) その他
 - ア R6年度スクールポリシー（生徒会執行部案）
 - イ R5年度部活動実績
 - (8) 閉会のことば（教頭）

- 4 出席者
外部評価委員 4名（1名欠席）， 本校評価委員 10名 計14名

5 委員からの質問・提言・感想等

（A委員）

- ・二人担任制などの取り組みに意欲を感じる。
- ・質問・提言

(1) 教務部へ

「主体的な学びとあるが具体的にどんな力が身につくのか焦点化してほしい」

(2) 生徒指導部へ

「生徒の自治的能力の向上，生徒の学校経営への参画について，生徒はどんな参画をしたのか」

⇒生徒会によるアンケートの実施

- ① 鹿児島銀行に髪型に関する意見を聞きに行った。
- ② 教員との話し合いの場を設けた。
- ③ 生徒総会による話し合いを行った。

（A委員）「そのような活動をブログ等へ掲載してみてもどうか」

(3) 進路指導部へ

「自己実現のために何を働きかけたのか，LHRでは何を何時間実施したか」

⇒正確に何時間実施したのかは分からないが，進路学習の時間を確保している。

（A委員）「自分たちで進路設計プランニングができるような時間にしてほしい」

（N教諭）「探究の時間も活用している。1年はSDG's，2年は探究の発表を3月に予定している。是非見に来てほしい」

(E委員)

- ・地元の高校に行ってほしいという思いは強い。
- ・質問・提言
 - (1) 教務部へ
「授業改善で具体的に何か全体で取り組んでいることはあるか」
⇒様々な取り組みが始まったばかりで各教科で試行錯誤している段階。今後、タブレットの活用など研修を通してさらに学ぶ必要がある。高校の授業の様子など中学校の職員も見学してもらいアドバイスをいただけたらありがたい」
 - (2) 生徒指導部へ
「校則に関しては中学校でも苦労している部分がある。校内でどのようなルール作りを行っているか」
⇒生徒からの意見を基に行っている。
(A委員)「本校も生徒と校則を検討しているが、一気に変えることはどうかと考えている」
「伊集院高校でのいじめの認知件数は」
⇒今年度は悪ふざけからエスカレートしたものが1件あった。
(E委員)「中学校は十数件あり、高校は落ち着いている印象」
 - (3) 進路指導部へ
「講演会についてはどのようなものを実施しているか」
⇒長崎県の田川先生に依頼している。学年に合わせて内容を変えて講演していただいている。2年生の9月はベネッセの鹿児島担当者に依頼した。

(D委員)

- ・色々なことが一気に変わった1年だった。子供たちもそうだったのではないか。
- ・変えていくことは大事だが、変えたことがどうだったのか数年かけて検証していくことが必要ではないか。
- ・色々なことを廃止するのではなく、残すべきことは残し、進化させていくことも大事ではないか。
- ・私立に流れている印象。小学生でも私立に行きたいといっている。
- ・地元の人たちが伊集院高校生に触れたとき、伊集院高校はいいなと思えるようにしてほしい。
- ・講演会も生徒たちが聞いてみたいと思う内容を生徒に聞いてみては。
- ・アンケート方法はグーグルフォームが増えたが、紙媒体がよいという保護者が周囲には多い。

(C委員)

- ・民生委員という立場はなかなか高校生との接点がない。
- ・自分たちが高校生の頃と学校がかなり違っておりびっくりしている。
- ・登校等、通常の生活では特に気になることはない。
- ・機会があったら学校のことを詳しく知りたい。
- ・鹿児島市からの通学生が多いことに驚いた。

(E委員)

- ・アンケートの内容について
小中学校でも同様のアンケートを年間4回実施している。高校でも実施していけばよい取り組みだと思う。

(A委員)

- ・授業については学習目標を提示した方が学習効果が高まる。
- ・見通しが立った授業が大切。
- ・単元シラバスの目標を示すだけでよい。
- ・3年生の自宅待機について、受験が終わった生徒を生かす方法はないか。